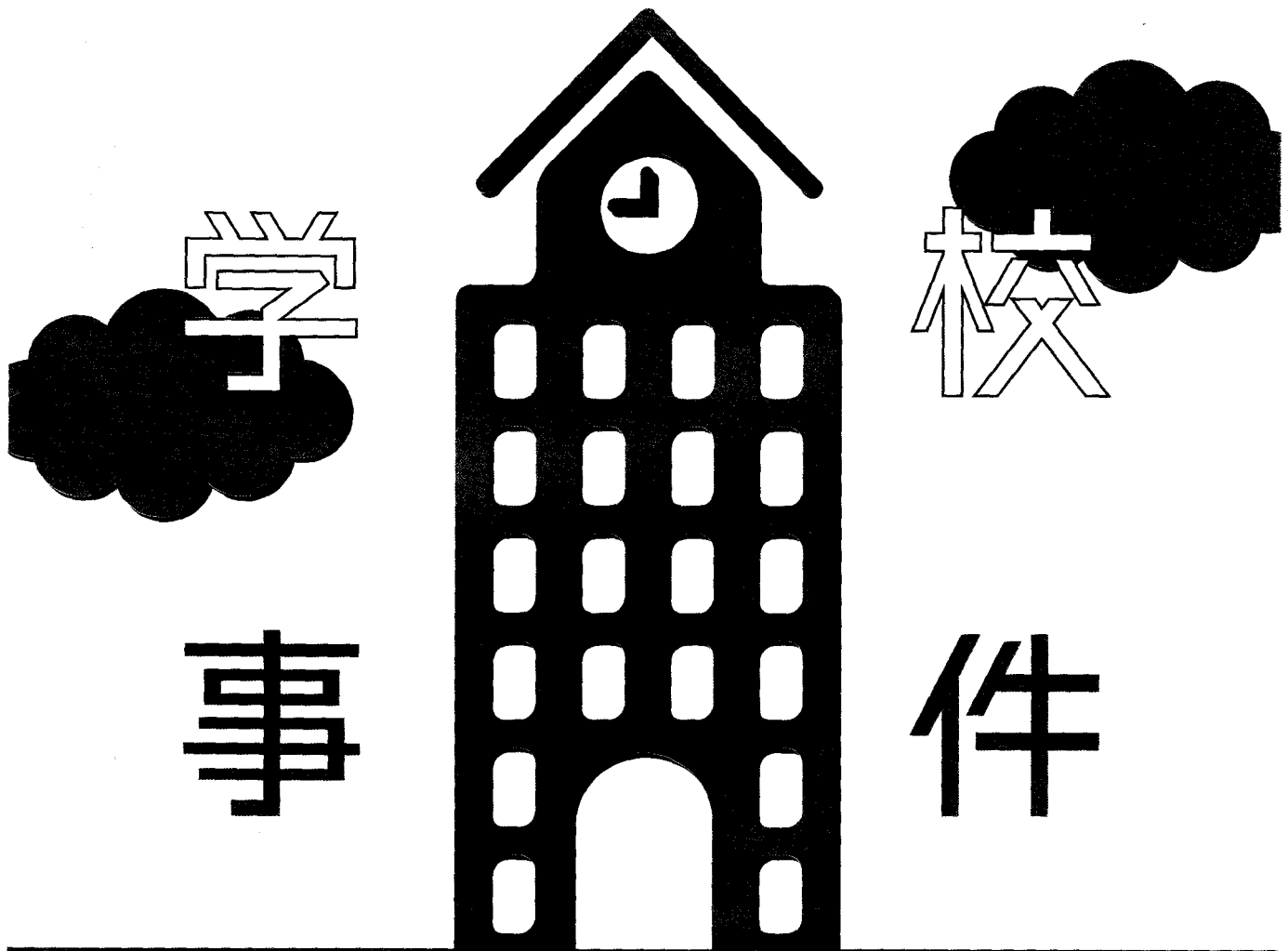


これでも、地域の学校なの？

高円寺

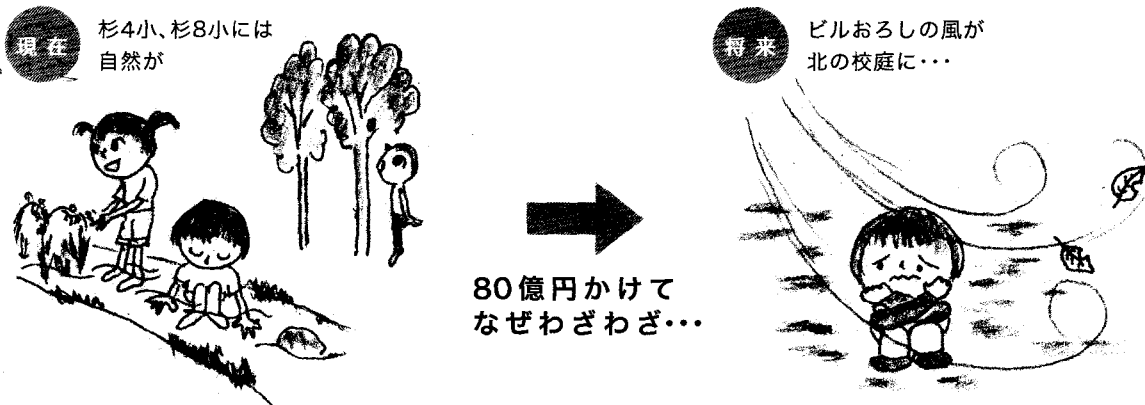


不安の声、ぞくぞく

高円寺中、杉4小、杉8小、杉3小の一部と特別支援学級支援学級、
そして学童クラブまでが6階建て(マンションで言えば8階相当)の
巨大校舎に入ることになります。

高円寺学校事件とは

建設費約80億円をかけて、杉4小、杉8小、高円寺中の3校を高円寺中学校の敷地に統廃合する計画。南北約72m、東西約62m、高さ約30mの巨大校舎になります。近隣住民の住環境にも重大な影響を与えることから見直しを求める声が上がっています。区は住民との合意を得るまでは一切の工事をおこなわないとしていた約束を反故にし、工事のための説明会も強行され、さらに工事にも着手した段階に進んでいます。施設一体型小中一貫校については、教育学的視点からもさまざまな問題点が指摘されており、その検証も行われていないまま安易に進めるべきではないと、専門家から意見があがっています。



現在、杉4小には田畑、杉8小にも自然がたくさんあります。しかし一貫校には陽当たりの悪い小さな菜園やプランターしかなく、自然環境は最悪です。ゆとりある自然空間は、おしゃべり、虫取りなど楽しい遊びの場です。やさしさが生まれ、友の意外な能力に尊敬も生まれます。杉並区は、小学校にビオトープを増やす環境教育重視の方針を忘れたのでしょうか。学校の建て替えとともに児童館は廃止、学童保育だけは巨大校舎の中へ。夏休みも、冬休みも、春休みも、年から年中、朝から夕方までずっと小中一貫校舎で過ごします(学童をお休みしても、あそびに行ける児童館はありません)。

高円寺施設一体型 小中一貫校完成予定図 (2019年開校予定)

BEFORE



AFTER



お隣の7階建てマンション(右下)より高い29mの6階建て

私たちの要望

高円寺施設一体型の小中一貫校は、子どもの教育環境・条件で多くの問題を抱えます。私たちは、これまでの経過を尊重し、最終段階に至っていることも十分承知しております。しかし、今後の長期にわたる子どものより良い教育を考えた場合、近くの杉4小を活用した、小学校、中学校が別校舎の連携型の学校を要望せざるを得ないと考えます。

高円寺学校事件をめぐる4つの問題

PROBLEM



地盤が弱たって…
ホント!?

巨大校舎を支える地中の杭の設計が危険!

地盤調査での区の報告書(H28)の設計について

杭の深さ18mの地層では、杭を支える固い地層が薄すぎて建物を支えられない。構造上安全が確保されていない。これでは、横浜の傾いたマンションと同じになる危険性がある(豊洲問題で活躍中の一級建築士：水谷和子さん)

but..

25mまで杭を打ち込めば、固くて分厚い地層に到達し、杭を支える安全が確保されるのです。ところが「18mより深く、25mまで杭を打ち込むと、工期も費用もかかる」と担当課長は区議会で答弁。子どもの安全より、工期と費用を優先する姿勢です。

PROBLEM



子どもの安全を
守れるか?

- 校庭の周りのかなり大きい木を22本、伐採する予定らしい⇒大気汚染から子どもを守るために植えられた木なのに…。
- 校庭で子どもたちに深呼吸もさせられないよ!(教員)
- 巨大校舎の北側の校庭は、冬には半分が日陰になる⇒寒い冬、ビルおろしの風。陽ざしのない校庭。育ち盛りの子どもには、太陽の陽ざしは欠かすことができない!
- 巨大校舎におされて校庭が狭い!野球は無理、サッカーもミニコート。運動会も、家族席はもちろん、子どもたちの観覧席もとれません。

PROBLEM



小中一貫校
運用上の問題

- 小学校は1時間が45分、中学は50分。チャイムや休み時間のずれはどうするのか。
- 校庭・プール・図書室・家庭科室の割り振りはどうするのか。
- 杉4小、杉8小、高円寺中にはなかった特別支援学級が、一貫校に設置されます。これは2階の小学校低学年のフロアにありますが、特別支援中学生の教室も同じところにあります。中学生になっても、通常学級中学生(4階)と切り離され、小学生の教室の隣に移るだけです。中学生としての誇りを傷つけられるのではないのでしょうか。文科省の方針である「通常学級と特別支援学級の交流」にも反する差別的な配置です。

PROBLEM



工費を浮かし
「欠陥校舎」に…?

文科省の官僚が天下って役員をしている設計会社 調査報告書改ざん?工費を浮かし「第2の豊洲」に…?

設計会社が提出した地質調査報告書では、6階建校舎を「中低層」と扱っています。しかし、文科省の「建築構造設計指針」では中低層(5階以下)高層(6階以上)と明確にしています。私たちの指摘で、ようやく区も過ちを認めました。偽りの報告書を作成した設計会社は文科省のOBが天下り、取締役を務める(株)教育施設研究所です。しかも当の指針を作った担当部署のOBで、意図的な「誤り」が考えられます。区は「訂正を求める」だけで工事を進めると言っています。安全をないがしろにしては「第2の豊洲」問題になります。



高円寺施設一体型 小中一貫校 不安の声、ぞくぞく



山本由美さん (和光大教授)

小学生と中学生をせまい敷地の、一つの校舎で学ばせることは、成長の節目をなくし、無理があり乱暴すぎます。9年間も同じ校舎で学ぶので、人間関係が固定化され、「いじめ・いじめられ」の関係も、ずっと続くこととなります。生活指導上の問題も、小・中クラスに一気に広がります。小学生高学年のリーダーとしての活動成長の場が失われがちになります。杉並の計画を見ると、どうしても施設一体型小中一貫校を導入しなければならない理由はないと思います。

現場教員の声

小中一貫の学校では、行事や授業の打ち合せや会議に多くの時間を取られます。大まかな打ち合わせをしても、小中それぞれの年齢や発達段階に合わせた対応をするために更に細かな打ち合わせも必要です。通常の業務にその時間が加わります。その結果、本来の授業準備や子どもたちの話をじっくり聞く時間が十分に取れず、対応が後回しになってしまうことがあります。

保護者の声

小6の親です。入学から卒業まで工事が続くそうですが、高校受験もあり、子どもたちが勉強する環境は確保してもらえるのですか？成長期の子どもたちにとって大切な、運動する時間やスペースの確保、騒音・工事車両・解体工事の粉塵(アスベストも心配)、登下校の安全など心配事が山ほどあります。

保護者の声

わずか6歳の子どもが、環七を横断し通学することになる。1973年頃、環八を横断して通学させるのが心配ということになり、高井戸東小学校ができたと聞いています。40年前とくらべれば、今ははるかに交通量が多くなっています。通学時の子どもたちの列に、暴走車が突っ込んで多くの死傷者を出すという事故も後を絶ちません。40年前と比べて子どもの命は、軽くなったのでしょうか…。

中学1年生のつぶやき

中学生が1~3年まで同じフロアになるのですか？先輩に気を使って、1年生はトイレにも気楽に入れなくなるよ！

地域住民の声

今まで校庭だった我が家の目の前に超巨大校舎が立つことを、突然知らされた私たち住民はびっくり仰天！日照・通風・視線…この住環境破壊は孫子の代まで続きます。しかも校舎は不必要に過大。納得できるはずはありません。住民無視の学校は、地域の学校にはなりません。しかも工事中は火事になってもしご車が入りません。ボーリングのやり方も専門家から疑義が出され、不安が増します。震災などとても心配です。(近隣住民・Eさん)